

# The Weekly GIANTS

ICU's Oldest and Largest Independent Weekly Student Newspaper Since 1976.

2015 年 ICU 祭特別号

発行日：2015 年 10 月 24 日

編集長：滝沢貴大

## ICU 祭開幕！

### 実行委員長に聞く、 今年の ICU 祭の見どころとは？

2015 年度の ICU 祭が開幕した。本館企画を始めとして、今年も部活やサークル、セクションの企画が目白押しだ。また、企画の人気投票である「ICU-1 グランプリ」にユニフォーム部門・仮装部門が新設されたり、アカデミック企画として「平和安全法制と憲法」「ICU の教育」をテーマに討論会が行われたりと、各所に新しい試みも見られる。今回は ICU 祭実行委員長の日向貴之さんに、ICU 祭の見どころやテーマに込められた思いなどについて存分に語ってもらった。

(※インタビューは再構成済)

——まず、今年の ICU 祭のテーマについて教えてください。

今年度の ICU 祭のテーマは「YOUtopia」です。毎年 ICU 祭のテーマは公募の後、投票によって決定しています。製作者によると、Utopia の U が二人称の You になっていますが、それには「あなたにとっての理想郷」という意味が込められているようです。

実行委員会、一般企画団体の参加者、その他の ICU 生、外部からの来場者、全ての人にとって ICU 祭が理想郷のようなイベントになったらいい、そんな意味が込められたテーマだと思います。

——今年から ICU-1 グランプリにユニフォーム部門と仮装部門が追加されましたが、これはいったいどういった試みですか？

例年、グランプリ企画ではステージパフォーマンス部門や屋内企画部門などを設けているのですが、それではどうしてもマンネリ化してしまいます。そんな中で新しい試みをしてみようかなと考え、新入生の 2 人を中心に新しく導入したのがユニフォーム部門と仮装部門です。こういった企画がなくても例年仮装して ICU 祭に参加する学生もいるということですし、ICU には仮装が好きな学生も多いと思うので、需要を取り入れてみました。

去年はそもそも ICU-1 グランプリの存在自体が知られていませんでしたが、企画者自身がそれを宣伝し、多くの票が集まり、閉祭式に大勢の方が集まってくれました。今年はより多くの方に興味を持っていただけるのではないかと考えております。

——去年は表彰式もイベント形式で、盛り上がりを見せていましたね。

その通りです。劇とまではいかななくても、面白おかしい小ネタをはさんだり、仮面紳士というキャラクターを登場させたりして、楽しんでいただける表彰式をやりました。

今年の表彰式も演出には気を使っているのですが、そこにも注目していただきたいです。投票は総合案内所付近の投票ボードでできるので、ぜひ足を運んでみてください。

——アカデミック企画について教えてください。今年は討論会を行うと聞きましたが。

当日の司会の流れに内容が左右されてしまうところがあるので、細かくはお話できないのですが、企画者は「平和安全法制と憲法」というホットな話題を取り上げたいとのこと

賛成派と反対派、その両陣営から学生を呼んで、きちんとした討論会を行います。演出にも気を使っていて、赤絨毯を敷いたり、音楽を流したりと、企画者の言葉を借りて言うのなら「イギリス議会のような」討論会をしてみようといった趣旨の企画になっております。

それに加えて、アカデミック企画では2日間とも中近東文化センターから講演者をお呼びして、講演をしてもらいます。これが今回の目玉だと思います。中近東文化センターの研究者には有名な方が多く、三鷹の公会堂などでの講演でもたくさんの人が集まります。そのような方々がわざわざ2日間もICUで講演を行ってくださります。ぜひ、こちらの企画にも来てほしいです。

——その他に委員長のイチオシ企画はありますか？

キャンパスツアーを毎年行っているのですが、今年はICUのアカデミックな部分を知る例年の「頭脳探索ツアー」に加え、「歴史探索ツアー」を企画しています。ICUは歴史のある大学ですから、泰山荘や「滑走路」、いわくつきのものからミステリアスなものまであります。ツアーを通してそういったものを巡ることができるので、参加して下さると嬉しいです。

また、「頭脳探索ツアー」も昨年度の内容に加えて、図書館の詳しい説明があったり、今まで前を通るだけだった施設などに入れたりするようになりました。そのあたりの企画者の努力を見てくださると嬉しいです。

——最後に、意気込みや来場者へのメッセージなどよろしくお願いします。

本当に今年はどの企画にも「YOUtopia」、あなたにとっての理想郷というテーマが取り入れられています。今までターゲットを絞った作り方をしていた企画も、どんな人にも楽しんでいただけたらと思います。

ICU祭というのは、実行委員会だけではなく、大学全体で推しているイベントだと僕は思います。そのような祭に

なるように努力してきたので、皆様にICU祭を楽しんでいただけたらと思います。

——ありがとうございました。

<社告>

The Weekly GIANTS ONLINE  
proudly presents

# ICU FESTIVAL 2015 LIVEBLOG

## ICU祭の模様を生更新！

- ・ステージで今なにが行われているのか
- ・どんな屋台料理が出店しているのか
- ・屋内企画を記者が実際に体験した感想

などなど

祭の最新情報にスマートフォンから簡単アクセス！



## 金澤先生、来たる！

国際基督教大学  
名誉教授と  
国際基督大学院  
卒業生の指揮者  
による対談



モーツァルト《レクイエム》の謎に迫る

日時：10/25 (日) 14:00~15:00

場所：新D館(ディッフェンドルファー記念館西棟)

1階 多目的ホール

## &lt;広告&gt;

## 2016 年度 ICU 一般入試対策

ICU の入試情報サイト BUCHO.NET と入試対策講座を運営する筆者が、昨年度 ICU 一般入試の分析と、来年度の対策方法を述べていきたい。

年度	志願者数	合格者数	倍率	受験者数の変化 (前年比)	合格者数の変化 (前年比)
2010	1754	504	3.48	94%	109%
2011	1602	486	3.30	91%	96%
2012	1624	512	3.17	101%	105%
2013	1657	565	2.93	102%	110%
2014	1576	549	2.87	95%	97%
2015	1894	594	3.19	120%	108%

2015 年度の一般入試 A 方式志願者数は 1,894 人と、昨年度の 1,576 人を大きく上回った。

2015 年度は、2014 年度と比較すると約 20% も受験生が増加した。その理由としては、入試科目が 4 科目から 3 科目へと変更されたことが挙げられる。それまで全ての受験者に課されていた人文科学が必須ではなくなったことで、理系の受験生が増えたのである。実際に BUCHO.NET の調査では、「人文・社会科学」の受験者が約 19% 増えたのに対し、「自然科学」の受験者は約 27% 増加している。また、2015 年度に入ってから ICU に関する報道が増えたことも、少なからず影響しているものと考えられる。なお 2016 年度の AO 入試志願者は昨年度から約 21% 増加しており、2016 年度の一般入試の志願者も、2015 年度から更に増加する可能性がある。

### <対策 1> 英語、人文・社会科学（または自然科学）の 2 科目で高得点を狙う

2015 年度に導入された総合教養 (ATLAS) は、問題内容が完全には公表されていない。そこで、まずは確実に出題される科目 (英語、人文・社会科学または自然科学) の対策を重点的に行うべきである。これらの科目に関しては、細かな変更はあるものの、ICU の伝統的な試験形式が踏襲されている。よって総合教養以外の科目は、過去問をしっかり研究することで十分に対策が可能である。

### <対策 2> 総合教養 (ATLAS) 対策

総合教養は冒頭に 15~20 分ほどの講義を聴き、それを元に 40~45 問程度の問題に答えるという形式の試験で、読解・聴解の要素が強い。試験時間は約 80 分で、問題冊子は講義の放送終了まで開くことができない。問題は 4 部構成で、Part I では講義に直結した問題、Part II では人文科学、Part III では社会科学、Part IV では自然科学の問題がそれぞれ 10 問程度出題され、Part II~IV の問題の前には、講義と関連した各分野の短い論文が掲載される。リベラルアーツ学習適性と同様に、非常に出題範囲が広いいため、満点を狙うような試験ではない。実際に ICU の公式 Web サイトでは、一般入試 B 方式、社会人入試での総合教養の合格最低点が公開されているが、いずれも 80 点満点中 42 点であり 100 点満点に換算すると 52.5 点である。

文系の受験生の場合は、まずは人文・社会科学の過去問をよく研究して、それらの出題傾向をしっかりと押さえておきたい。その上で、数学や理科を、高校の授業で習った範囲だけでも復習しておくといよい。一方、理系の受験生は、人文科学の試験が必須でなくなったものの、読解の要素がこの試験に盛り込まれているので、論文に書いてある内容等を素早く把握するために、人文科学の過去問を見ておいたほうがよい。いずれにせよ、およそ全ての教科が出題範囲となり得る試験であるので、全てに対応するというより、併願校や選択科目等によってそれぞれ違ったアプローチが可能な試験と言える。まずは自分の選択している科目で点を取っていくという姿勢で試験に臨みたい。また、他大学にはない特殊な試験であるので、ICU が一部公開している問題は必ず確認し、少なくとも試験の形式に関しては戸惑うことのないようにしておきたい。

### <対策 3> 英語

#### リスニング対策が重要、リーディングは空所補充対策を

ICU の英語の特色として、英語の問題の約半分がリスニングであるということが挙げられる。これは難関私大の中でも珍しく、リスニングを全面的に実施しているのは、早稲田大学の国際教養学部などごく一部の学部に限定される。よって、多くの受験生はリスニングの対策が必ずしも

万全ではない。ICU を志望する受験生は、英語リスニングの対策をしっかりとっておくことが、大きなアドバンテージとなり得る。伝統的に ICU のリスニングは、TOEFL の形式に類似しており、TOEFL 教材（特に PBT/ITP 形式）を使っての学習は有効である。また、ICU の過去問も出題の形式や内容（大学生活をベースとした日常会話や大学での講義など）は概ね一定しているので、市販されている ICU の過去のリスニング問題を用いての学習も非常に有効である。

英語リーディングに関しては、典型的な読解・内容一致問題（Part I）が中心であるので、英語の受験勉強をしっかりとしている人にとっては、さほど心配はない。ただし Part II には 300～400 語の英文中に 20 もの空所があるという、やや特殊な空所補充問題があるので、演習を重ねておくとよい。この問題には文法、語法、語彙のみならず、ライティングや文脈理解の要素も入っているので、英語の総合力が求められる。

全体として、ICU の入試では総合的な英語力が問われており、特に大学で学ぶ上での英語の運用力、つまりアカデミックな英語力を測る試験であると言える。また、問題がよく練られており、概ね受験生の英語力に比例した点数が出る。そのため、英語は十分に時間をかけて勉強し、試験に臨みたい。また、ICU では、入学後も ELA や英語で開講される授業等で、常に英語力が必要とされる。

#### <対策 4> 人文・社会科学

##### 過去問演習が有効

人文・社会科学は大学入試としては非常に長い論文を読んだ上で、約 40 問の問題に答える形式で出題されている。2015 年度の問題文の長さは、約 12,000 文字、B5 用紙で 10 枚程度、問題数は 41 問であった。試験時間は 80 分で、回答に要する時間を考えると、20～30 分程度で約 10,000 文字以上の学術的文章を読み切る能力が必要となる。高 1 や高 2 の段階では、まずは読書の習慣を身に付け、新聞や新書等を継続的に読むなど、日本語の論文を読む訓練を行うとよい。その際、読んだ文章の要約をノートなどにまとめてみると、短時間で内容を把握できるようになり、文章読解の訓練となる。すでに高 3 で試験が控えている場合、あるいは高 2 などで ICU 志望が決まっている場合などは、ICU の過去問の演習を始めたほうがよい。

人文・社会科学の特徴は、ICU の教授らが、本文が試験のために論文を書き下ろされているという点である。他大学の入試の現代文や小論文等の資料は、ほとんどの場合、既存刊行本や新聞記事等の文章を引用したものであるが、

ICU では毎年入試のためだけに、教授らが文章を作成している。よって、ICU の人文・社会科学は ICU の先生方から、未来の ICU 生へのメッセージという側面も持っており、内容の充実した論文が多い。また、毎年様々な教授らが論文の執筆を担当しているので、人文・社会科学の過去の論文をたくさん読んでみると、多様な学問分野を試験対策としてカバーできると同時に、固有の出題形式にも慣れることができる（経験上、10 年分以上の過去問を解くと出題が一巡し、得点力が一気に上がるようだ）。

#### <対策 5> 自然科学

##### 記述問題が登場、数学は難化傾向

リベラルアーツカレッジ、あるいは教養学部系統の大学の中で、理系の科目も学べるというのは、ICU の大きな特長である。英語のできる理系の大学生は、就職や院進学など多方面で需要がある。一方、文系のイメージの強い ICU で、理系の優秀な受験生をいかに確保するかというのは長年の課題であり、入試では理系の学生は若干有利と思われる傾向がある。BUCHO.NET の調査では、2015 年度の社会科学選択者の倍率が約 3.2 倍であったのに対し、自然科学選択者は 2.6 倍であった（2014 年度はそれぞれ 2.9 倍、2.4 倍）。自然科学の試験は、数学、物理、生物、化学の 4 分野から 2 分野を選択する形式である。また、4 分野とも同一の冊子に問題が印刷されているため、問題を見てから、回答する 2 分野を選択することが可能である。自然科学の問題は標準的なものが多く、一般的な受験勉強をしていれば大半は対応できる。よって、いかにミスをしなないかというハイスコアゲームの要素がある。なお近年では、数学において他の分野より難度の高い問題が出る傾向にある。また、昨年度から各分野 2～5 問程度の筆記問題が出されるようになった。特に筆記の計算問題では、マーク方式とは違って概算が使えず、正確な計算結果が求められるため、よりスピーディーに回答する必要がある。

筆者の主 WEB サイト BUCHO.NET では、学内取材や過去の傾向に基づいた、音声付きの総合教養対策問題を多数用意している。また、その他の教科も 1988 年の過去問公開開始以降のほぼ全ての過去問を閲覧・演習ができる。興味のある方は下記 WEB サイトを参照されたい。

（筆者は ICU OB で、入試情報サイトを運営）

（BUCHO.NET : <http://icu.bucho.net>）

（「BUCHO」で検索）